

小野市議会だより

2020. 2
No.190



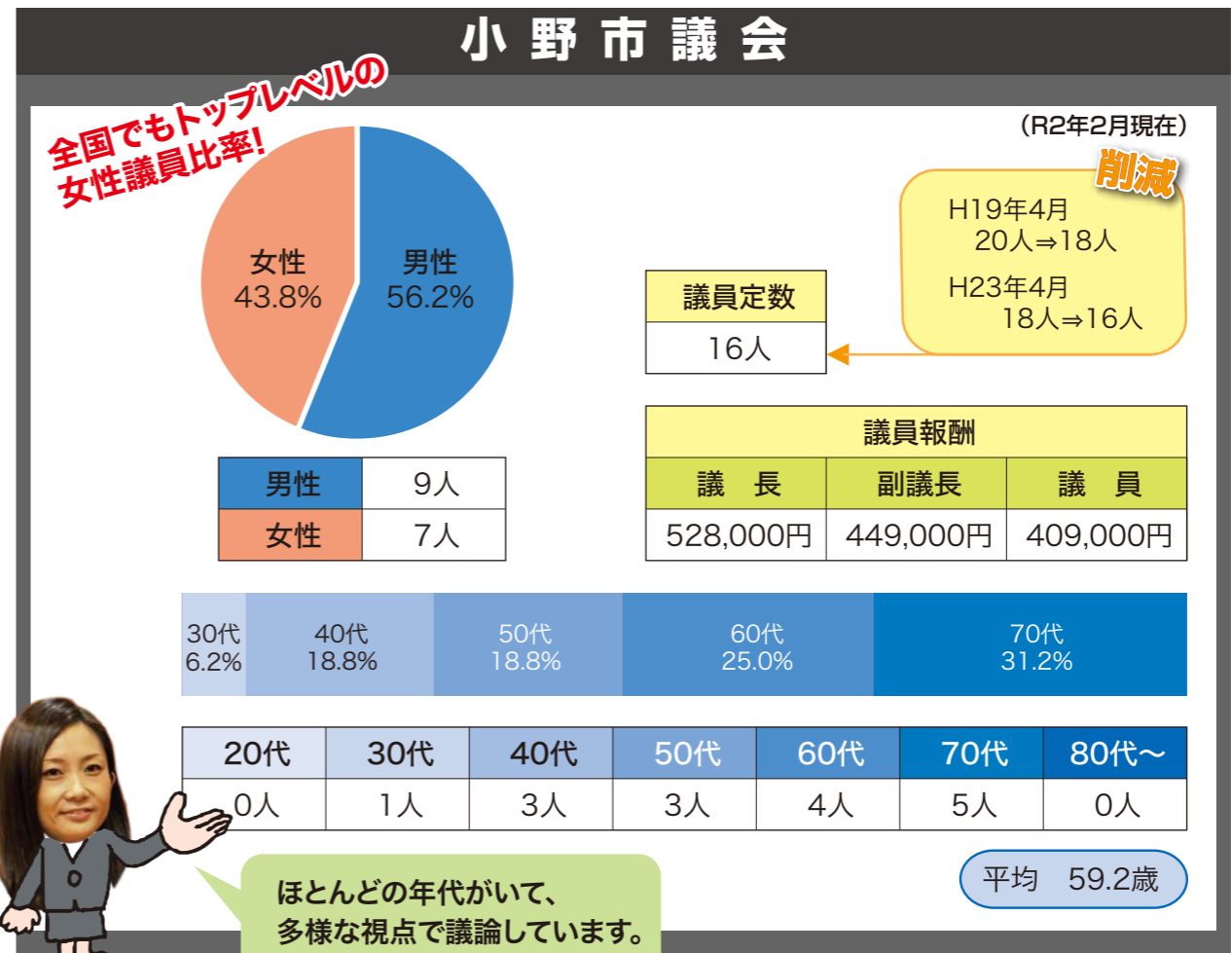
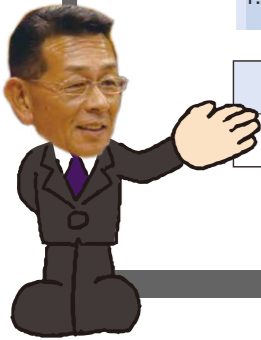
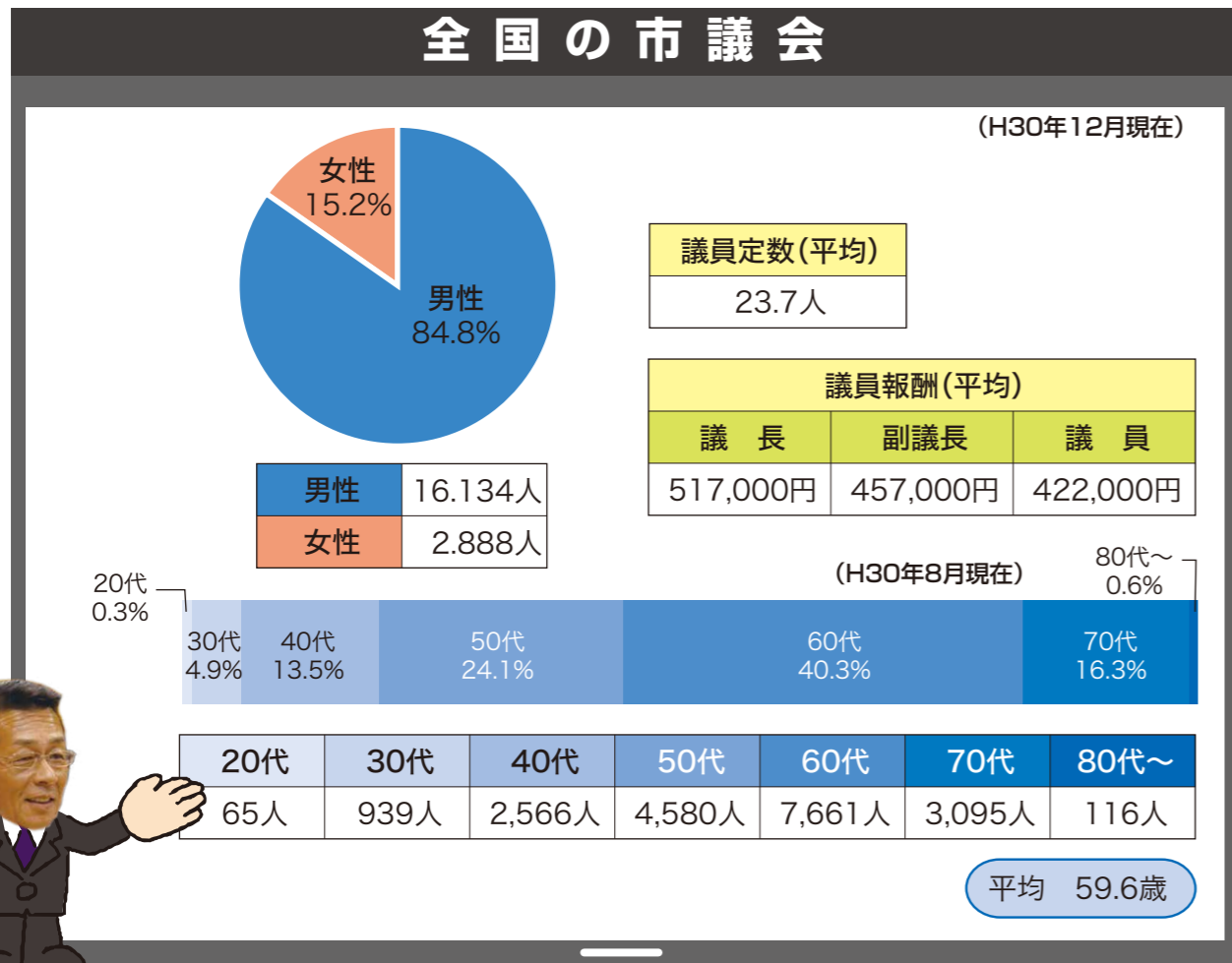
!?
なるほど
小野市議会



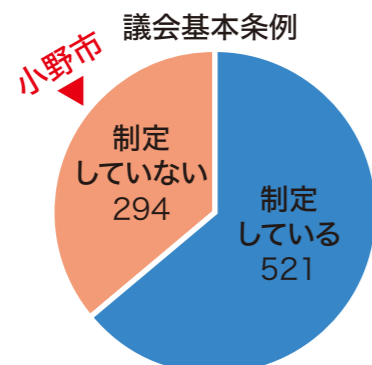
議会改革って何？

—全国の市議会の動きと小野市議会の現状—

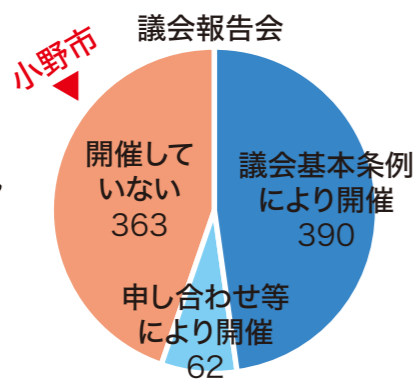
全国の市議会と小野市議会との比較



全国815市議会の状況

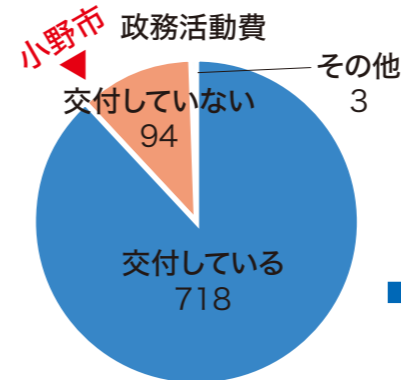


議会基本条例は、北海道栗山町議会が初めて制定されたと言われていました。その後、全国のあちこちで、ブームのように制定されてきました。栗山町議会のように、改革を進め、それを明文化することを本来、目指すべきですが、条例を制定すること自体が目的となり、形骸化している議会があることも否めません。



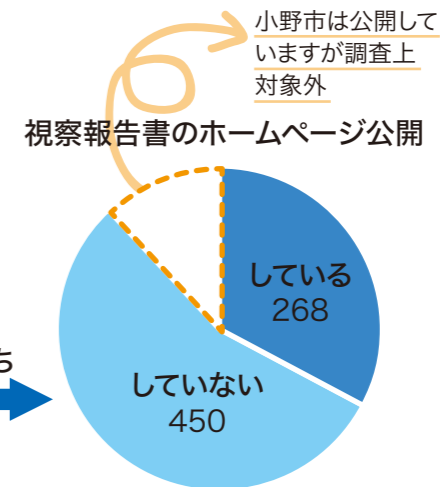
小野市議会では、議会として当たり前のことを条例化する必要はないとして、議会基本条例を制定していません。

議会報告会も、定期的には開催していませんが、場を設けて、わざわざ来ていただき、少人数の方とお話するより、わかりやすい市議会だよりを全戸配布し、お知らせしたり、要望があった団体と意見交換させていただく方が有意義ではないかという結論に至っています。



小野市議会では平成29年度から政務活動費を廃止しています。小野市議会では不正はありませんでしたが、全国で不適切な支出が相次ぎ、不信感が募ったために全国的にも極めて稀な取組として廃止することを決定しました。

なお、公費で行政視察や研修に行った場合、視察報告書は必ず全員ホームページで公開していますが、政務活動費がないため、調査結果上では「公開している」に含まれていません。



議会改革って何？

小野市流議会改革

早稲田大学マニフェスト研究所では毎年「議会改革度調査」を実施し、全国の地方議会の改革度をランキング形式で公表しています。

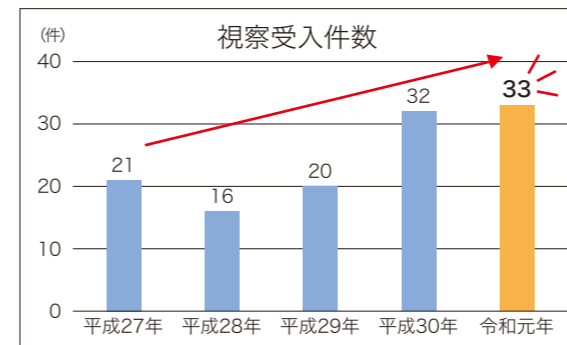
平成30年度のランキングの結果、兵庫県から100位以内に入る議会が相次ぎ、都道府県別では最多となっています。

しかし、小野市議会は、回答のあった1,447議会中720位でした。

その要因の一つが議会基本条例を制定していないことにあります。また、政務活動費を廃止したことで、活動報告書の公開をしているにも関わらず、評価されていないためと考えられます。

ただ、ランキングには反映されていないようですが、小野市議会では独自の議会改革を行っており、その取組に対して、全国から視察にいられています。

各自治体で地域性も状況も違うから、改革も、その自治体に合った取組をしないとイケないわよね。



●行政視察を多数受け入れ

令和元年の1年間で全国から33議会が小野市の施策を視察にいられました。

今年は、改選があり、初当選した議員も研修の一環として行政視察を傍聴し、小野市の施策について、知識を深めています。

また、政務活動費の廃止や議会傍聴時の託児・手話通訳等の取組、市議会だよりについての取組など、小野市議会の取組についても視察にいられ、紹介しました。



●議会調査研究活動報告会

政務活動費の廃止により、調査・研究のため行政視察等を実施する場合は、議会の承認が必要な仕組みとなりました。議員自ら事前に計画書を提出し、目的を議会へしっかりと説明してから実施するという、成り行き管理からターゲットワークへの転換を行いました。

さらに調査研究活動を見える成果とするため、視察や研修を実施した後は、議員全員で報告会を行っています。資料やパワーポイントを使って説明し、質疑応答をして、議員全員にフィードバックを行っています。

また、担当職員も参加できるようにしており、議員だけでなく、当局とも先進的な取組を情報共有できるようにしています。



●市議会だよりの刷新

昨年度より、市議会だよりの刷新を行っております。小野市議会の活動をお知らせできる一番有効なツールですので、読みやすくわかりやすい紙面を目指して、現在も検討を重ねています。

ご意見やアドバイス等、ぜひお寄せください。



●議場での市民との懇話会

新聞でも紹介されましたが、令和元年6月から市議会本会議休憩中に、議場で傍聴者の方から質問を受け付ける懇話会を始めました。市長など当局と議員がいる議場で、市民の方の率直な疑問に答える機会を設けるという全国でも稀な試みをしています。

倒壊しそうな空き家の撤去など、懇話会を経て、解決に繋がった例もあります。市議会の傍聴にいられた際には、ぜひ、ご参加ください。



ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に
関わることについて、
7人の議員が
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)



●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



平田 真実 議員 (ともに輝くおの)



QRコード



不妊治療助成を拡充すべきでは

【答弁】 当市は十分すぎるくらい支援ができています

【質問】 特定不妊治療費助成は、国・県の上乗せ事業である。国の制度で対象外となれば市の助成も受けられない。一般不妊治療も含め、不妊で悩まれる方にもっと寄り添った事業にすべきでは。

【答弁】 不妊治療も含め、当市の子育て支援は十分出来ているという認識である。夫婦や家族で協力し、自分たちで責任を持って実現していくことの意義は大きい。(市長)

産後の育児等への支援について

【質問】 核家族での新生児育児や多胎児育児は本当に大変である。ファミサポでは対象外となっている沐浴や家事のお手伝い等、実生活での困りごとを助け合うような仕組みづくりはできないか。

【答弁】 育児や家事支援が必要な場合はシルバー人材センターを活用頂き

受動喫煙防止について

【質問】 市主催イベントでの歩きたばこを含めた喫煙マナー喚起に加え、受動喫煙に配慮した分煙の取組について問う。

【答弁】 案内板等による喫煙所への誘導と、人の往来を考慮した導線に配慮する必要がある。分煙が徹底できると、イベント運営者と協議していく。(市当局)



安心して産み育てられるまちへ

【質問】 今後も、悩みを抱える方が相談しやすい体制づくりに努める。(市当局)

河島 三奈 議員 (市民クラブ)



QRコード



コミセンおのの移転は？

【答弁】 福祉総合支援センターを活用する

【質問】 過去の答弁で、方向性は聞いていたが、現時点での進捗状況は、どのようになっているのか。

【答弁】 現在、移転先となる福祉総合支援センターの改修工事に向けた実設計業務を行っている。計画案では、特別な機能が必要とする部屋から優先的に配置する考えである。現在のコミセンおのと比較すると面積が狭くなるため、会議や打ち合わせ等の貸室については、伝統産業会館、他のコミセン、各町公民館を利用していたことにより、これら既存施設の更なる有効活用も併せて図っていく。(市当局)

【質問】 福祉総合支援センターの中に社会福祉協議会が残るのか。



コミセンおの ラストクリスマスイルミネーション

その他の質問事項

- ・ 防災・減災対策について
- ・ 議案第59号、63号について

村本 洋子 議員 (公明党)



QRコード



食品ロス削減法 何が変わる？

【答弁】 「もったいない」を「ありがとう」に

【質問】 市民への理解と関心を深める取組は。

【答弁】 広報に啓発記事の掲載、市主催のセミナー、消費者団体主催の料理教室、小野市環境審議会におけるプレゼンを行い、削減の必要性を説明。小学校での環境出前講座を開催。(市当局)

【質問】 3010運動の啓発に対する取組は。

【答弁】 来年4月の運用開始に向け、市民や飲食店と連携した普及促進を掲げ審議会では是非を協議する。(市当局)



環境省 3010 運動啓発チラシ

防災対策の更なる推進について

【質問】 自治会の災害対策活動への補助制度の創設は。

【答弁】 毎年9月に自主防災リーダー研修を実施。防災の知識習得、防災体制の構築支援を行っている。補助金制度の創設は考えていない。(市当局)

【質問】 迅速な避難が困難な方への支援体制は。

【答弁】 避難行動要支援者支援制度を活用し避難場所までの移動支援体制の構築を促進している。黍田町でケアマネージャーや自治会役員等と連携した個別計画の作成を行うモデル事業を実施。(市当局)

松永美由紀議員（ともに輝くおの）



ひらけ!!世界へのとびら

答弁 子どもの夢と希望を叶える教育に取り組む

質問 令和2年度から小学校の英語教育が大きく変わるが、今後の対応を問う。

答弁 現在、小学3、4年生では、ALT(外国語指導助手)とのふれあいにより、主体的かつ意欲的に英語を学べるよう取り組んでいる。5、6年生では「読む」「書く」の指導により、日常の出来事や自分の思いを英語で伝え合う活動に注力している。今後はさらに、「話す」「聞く」を加えた4技能の向上を目指す。



Let's study English!

また、教員の指導方向上は積極的に取り組んでおり、ALTの増員は検討していく。

オンライン化の促進について

質問 行政サービスのオンライン化への取組は。

答弁 最近では「おの恋プレミアム商品券予約」をインターネットでも受け付けたところであり、「市長へのおたより」、「小野市短歌フォーラムへの投稿」、「小野市希望の丘陵上競技場の愛称募集」サイトを開設。また、市税や水道料金のスマホ決済も開始。オンライン申請は利便性が高く、ICT技術の発展と共に導入の必要性が高くなることから、個人認証を可能にするマイナンバーカードの普及に努め、オンライン化に向けて検討を行っていく。

河島 泉議員（ともに輝くおの）



これで安心!! 上下水道対策

答弁 上下水道の災害時対策は構築済み

質問 上下水道管の災害対策と断水時の対策を問う。

答弁 上下水道管は、各関連部局及び協定を締結している機関の協力、支援を得ることができる。また断水時には「給水量1日1人あたり最低3ℓの確保」を前提とすると、全市民に対し約4か月分の給水量は確保できる。



耐震性貯水槽による訓練(大池総合公園)

カーブミラーの設置について

質問 設置条件と維持管理について問う。

おのアクティブポイント事業の集約化について

質問 今後の展開とポイントの集約化について問う。

答弁 この事業は健康寿命の延伸を目的に、市民が取り組まれる活動のうち、健康づくり、介護予防、シニアボランティアの3分野を統合した内容となっている。ポイント付与は現状どおり継続し、マイナンバーカード等へのポイントの集約化は、国等の動向を見極めつつ進めていく。

喜始真吾議員（市民クラブ）



鍬溪温泉の現状は

答弁 コミュニティ活動の拠点であり観光交流の結末点

質問 場所が分かりにくいいため、案内看板が必要ではないか。また、今後のリニューアルは考えているか。

答弁 看板設置は議論する。施設のリニューアルは、今のところ考えていない。あくまで地域コミュニティの場として運営していく。



秘湯 鍬溪温泉



万勝寺川下流部

河川の堆積土砂について

質問 堆積土砂の処理状況は。

答弁 加古川では東播磨道の盛り土材に、県、市は予算の範囲内で撤去している。

質問 民間事業者を活用した砂利採取は。

答弁 加古川管内では問い合わせ等

議案第67号 小野市手数料徴収条例等の一部を改正する条例の制定について

質問 改正にあたっての基本的な方針や考え方は。

答弁 長年据え置いたままだったものをゼロベースで見直した。また、証明書等の手数料は、原価を受益者が全額負担することを基本としている。

藤原 章議員（日本共産党）



低所得者の幼保副食費助成を

答弁 負担の公平上、副食費の助成はしない

質問 国の3・4・5歳児の幼保無償化で、所得360万円以下世帯の副食費が無償化された。これを0・1・2歳児にも適用できないか。

答弁 子育て支援は十分充足されている。家庭で育てている保護者との負担の公平性を図るうえで副食費の助成はしない。

イノシシ対策の強化を

質問 防護柵の設置助成は現物支給

しているが、地域の希望を完全に叶えられるよう予算措置をするべきではないか。

答弁 国の補助事業分は66%、市の助成を入れて86%となっている。不足分は次年度以降に要望して欲しい。

質問 複数の個人が共同で、一定区域を電気柵等の防護柵で囲む場合の設置補助を考えないか。

答弁 「ゆびか」の入湯料が上がるが、市内住民の料金は据え置いて、市外料金を設定すればどうか。

「白雲谷温泉ゆびか」入湯料に市外料金を

質問 「ゆびか」の入湯料が上がるが、市内住民の料金は据え置いて、市外料金を設定すればどうか。

答弁 「ゆびか」は市単独の税金で整備したのではなく、流域下水道の周辺整備事業で作った。ランニングコストにも税金の投入がなく、市内と市外を分ける必要はない。

議会運営委員会行政視察報告

令和元年10月3日(木)～4日(金)

愛知県安城市 (改革度ランキング208位) 議会のICT化を調査

安城市議会の合言葉「やるじゃん安城」

議員の危機感から始まったiPadProによる議会の見える化

ICTとは「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指し、情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。



○議会運営委員会の意見

時代の流れも鑑み、議会のICT化に向けた検討への賛同の声は多くあります。しかし、投資に見合う成果を得るため、ますますの調査と研究が求められています。



ICT化で市民と議会を繋ぎ、議会の情報共有、市民への情報公開へ向け検討

愛知県犬山市 (改革度ランキング114位) 市民フリースピーチ制度等を研究

市民参加！「参加する。発言する。実現する。」フリースピーチ制度を導入

なり手不足や投票率の低下など数々の課題に直面する地方議会。ガラガラだった傍聴席が埋まった。公募で集まった市民が議場で施策の提案や日頃の市政への思いを5分程度で話し、議員から質問を受ける。提案を受けた議会は、その後の対応を議論する。地方議会として導入したのは犬山市が日本初。住民ならではの目線によって次々と課題を見つけ、議会は議論し活性化する。

犬山市議会は応募総数2,242件の中から「第13回マニフェスト大賞」(マニフェスト大賞実行委員会主催、毎日新聞社・早稲田大学マニフェスト研究所共催、株式会社共同通信社後援)においてグランプリを受賞。

○議会運営委員会の意見

視察内容の市民フリースピーチ制度を評価する意見多数。現在、小野市では「市民との懇話会」と題し、本会議休憩中に傍聴者の方々より質問や意見を受け付けています。市長に、部長に、議員に何でも質問できる懇話会。今後ますます、運営等を検討していきます。



ぜひ議会傍聴に！お待ちしております！

常任委員会審査報告

12月定例会の提出議案審査について、12月23日に総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。

《総務文教常任委員会》

付託議案数：10件 (議案第59号・64号・65号・66号・67号・68号・69号・74号・75号・76号)

審査結果：議案第67号以外に反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決定。
議案第67号 小野市手数料徴収条例等の一部を改正する条例の制定について反対討論があり、採決の結果賛成多数をもって可決すべきと決定。



《民生地域常任委員会》

付託議案数：7件 (議案第59号・60号・61号・62号・63号・70号・71号)

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決定。



第8回 議会調査研究活動報告会

令和元年度 小野市議会 議会調査研究活動 (10～12月まで)

12月25日開催!!

派遣議員	派遣日	派遣先	内容
村本洋子、藤原貴希 喜始真吾、久後淳司 河島三奈、高坂純子 前田光教、小林千津子 岡嶋正昭、川名善三	10月30日～ 11月1日	高知県高知市	全国市議会議長会 研究フォーラム in 高知
		兵庫県洲本市	全天候型陸上競技場の整備について
藤原貴希、喜始真吾	11月6日	大阪府大阪市 (セミナー)	議員が知っておくべき財政の話 基礎編

議員全員で、意見交換、情報共有を行いました。
詳しくは議会ホームページの「議会調査研究活動報告」で。



総務文教常任委員会調査報告

9月30日(月)実施



調理室のモニター



試食した三色丼

学校給食センター

子どもたちの健全な成長と災害時の新拠点を担う

平成30年4月オープンの学校給食センターの取組について、調査、研究するため現地視察を行いました。

- 昭和42年建設の旧センターから新しくなり、
 - ・温度25℃、湿度80%以下を保つ
 - ・汚染（野菜洗浄前など）、非汚染区域を明確に区分
 - ・床が濡れていないドライ方式へ
 - ・おかずが2品から3品へ
 - ・食物アレルギーへの対応
- など、快適な調理場の環境のもと、おいしい給食の提供に取り組まれました。

保護者対象のアンケートの結果でも概ね満足だという回答だったそうです。

委員からは、職員の健康管理、地産地消への取組、食品ロス、異物混入、保護者への研修等について質疑があり、納得のいく回答を得られました。

消防署北分署

10分以内で現場到着！

消防署北分署（消防団北分団の拠点も兼ねる）は、主に下東条地区・河合地区への救急事案に対応すべく設置された施設です。視察当時は、若い隊員の研修により、署長もローテーションに入り、日々の業務を行っておられました。消防本部との連携により、業務に支障が起らないよう対応されていました。



当分署の設置により下東条方面へもほぼ10分以内に到着が可能となり、近隣の市民からも、通報から出動までの時間が非常に短く、現場到着も早いとの声をいただいているそうです。市民としても安心して暮らせる施設として確認できました。

なお、救急出動については、本部が40%で、南分署と北分署でそれぞれ30%をこなしています。

10月11日(金)実施

小野警察署

踏み間違えな！高齢運転事故のもと

近年の高齢者の交通事故の悲惨な状況に鑑みて、小野警察署を視察し、小野市の交通事故の状況を伺いました。

平成30年度に小野市内で発生した人身事故のうち、高齢者関係事故発生件数は29.6%で、兵庫県下の平均値34.0%と比べると低い状況でした。

違反種別で見ると、①前方不注意、②一時不停止、③優先通行妨害等となっています。また、運転免許証の返納数は、令和元年8月時点で前年1年間に匹敵する数値となっています。

高齢者の交通事故防止対策では、①歩行中・自転車乗車中の高齢者の事故防止対策、②高齢運転者による事故の防止対策、③高齢者保護意識の向上方策にそれぞれ取り組まれています。

運転免許の自主返納も方策の一つですが、高齢者自身が自分の運転技量を認識できる取組の必要性を感じました。



小野シルバーリーダーズスクール
(小野自動車教習所)

民生地域常任委員会調査報告

11月12日(火)実施

北播磨こども発達支援センター わかあゆ園

わかあゆ園の現状を知る

昭和40年4月に1市7町で肢体不自由の機能回復訓練を行ったのが始まりです。現在は、医療型児童発達支援、保育所等訪問支援、障がい児相談支援及び特定相談支援事業を4市で運営しています。

現在の課題は、①職員不足、②疾病の個別対応困難、③医師の確保、④施設の老朽化が挙げられます。

小野市
西脇市
加西市
加東市

負担金



わかあゆ園 (療育の様子)



議会を傍聴しませんか

☆ 3月定例会日程 ☆

- 2月26日(水) 午前10時～
本会議(第1日) 議案説明
- 3月11日(水) 午前10時～
本会議(第2日) 一般質問実施
- 3月12日(木) 午前10時～
本会議(第3日) 一般質問実施
- 3月26日(木) 午後1時30分～
本会議(第4日) 議案の採決など

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★3月定例会で一般質問する項目・内容については、3月中旬に市議会ホームページに掲載します。

「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる3月11日(水)、12日(木)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。希望される方は、3月3日(火)までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



傍聴に来れなくても…

QRコードで議会中継へ
簡単にアクセス!

市議会放送



小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。

市役所5階の議会事務局までお越しください。



傍聴席から見た議場

議会と市民との懇話会

一般質問が行われる11日(水)と12日(木)の本会議休憩中に、傍聴者から質問していただく機会を設けます。

議会傍聴を終えて疑問に思われた点など、ぜひ、ご意見をお聞かせください。

「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。

希望される方は、希望される定例会開催日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



議会傍聴者数

12月定例会 45名
(令和元年度累計 175名)

《お申し込み先》 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108 E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp

あとがき

「小野市議会の取り組みをもっと知って頂きたい!」そんな想いで、今回は小野市議会と他の市議会の状況を比較して頂けるよう企画致しました。

政務活動費の廃止や、議会調査研究活動報告会、議会と市民との懇話会など、小野市議会が全国でも稀な独自の議会改革に取り組んでいることをご理解頂けたのではないでしょうが。

今後他市町議会の取り組みについても学びながら、「小野市議会流」の開かれた議会をめざし、皆さまのお声を反映できるよう取り組んで参ります。

(市議会報編集委員)

平田真実